



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2026 年 8 月号（645 号）》

目 次

報 告

・ 常任司教委員会	1
・ 司祭・終身助祭生涯養成委員会	3
・ 青少年司牧部門	4
・ 多文化共生司牧部門	5
・ 聖書・教理部門	7
・ 典礼委員会	7
・ 学校教育委員会	8
・ 社会司教委員会	10
・ カリタスジャパン	11
・ カトリック中央協議会事務局（総務）	12
公文書	13

常任司教委員会

■7 月定例常任司教委員会

日 時 2026 年 7 月 2 日（木）10：00－14：00
場 所 日本カトリック会館 アネックス 食堂
出席者 委 員 7 人
事務局 7 人

報 告

1. 正義と平和協議会の資料整理事業のための上智大学への資料貸与について
2026 年 5 月の常任司教委員会で、正義と平和協議会が所有する資料の整理、PDF データベース化事業のため、現存する 2000 年以前の資料を上智大学グローバル・コンサーン研究所に貸与することを承認した。このたび上智大学同研究所より正式に「申し入れ書」が届いたことが報告された。
2. 教皇庁いのち・信徒・家庭省主催の研修会参加について
教皇庁いのち・信徒・家庭省主催で 6 月 10 日に開催された高齢者への司牧的ケア推進の研修会に参加した淑徳大学教授の結城康博氏から届いた報告書を紹介した。

審 議

1. 入信の秘跡に関連する新しい用語の使用開始時期と Web による情報公開について
2026 年 6 月の司教総会において確定した、「入信の秘跡に関連する新しい用語」については、準備が整い次第、中央協議会のウェブサイトに掲載する。新しい改訂用語は基本的に新しい『ミサ典礼書』と『新教会法典』の改訂版に掲載するが、両書の発行前に出される諸文書やメッセージに該当用語が掲載されている場合は、改訂された用語を用いる。
2. 『「被造物を大切にするためのミサ」の手引き（2026 年版）』について
司牧の現場で活用できる参考資料として、典礼委員会とラウダート・シ部門から提出された『「被造物を大切にするためのミサ」の手引き（2026 年版）』を承認し、各所への通知とともに、中央協議会ウェブサイトに掲載する。
3. 「被造物を大切にするためのミサ」で使用する聖書朗読箇所について
2027 年から 9 月第 1 主日（被造物を大切にすると世界祈願日）に、全国で年間主日のミサに代えて「被造物を大切にするためのミサ」をささげることについては、2026 年度特別臨時司教総会に諮る。このミサの朗読の箇所については、『教会暦と聖書朗読』および『カトリック教会情報ハンドブック』の入稿期限を考慮し、本常任司教委員会に提出された朗読箇所を承認した。
4. 2026 年「祖父母と高齢者のための世界祈願日」の祈りの邦訳について
本常任司教委員会での諸意見に基づき修正した 2026 年「祖父母と高齢者のための世界祈願日」（全世界は 7 月第 4 日曜日、日本は「敬老の日」の前日の日曜日）の「祈り」の邦訳を承認した。
5. 2026 年「平和旬間」司教協議会会長談話について
本年 8 月の平和旬間に向けて発表する日本カトリック司教協議会会長談話については、菊地枢機卿が案文を作成し、常任司教委員に意見を求めた後、確定版を公表する。
6. 2026 年 9 月末開催の 3 司教委員会秘書合同会議について
2026 年 9 月 30 日午後開催する 3 司教委員会秘書合同会議の参加者とプログラムについて検討を行い、3 司教委員会に属さないカリタスジャパンの秘書にも参加を依頼することを申し合わせた。
7. 日本カトリック障害者連絡協議会からの要望について
日本カトリック障害者連絡協議会作成の『障害者差別解消法の手引き』を日本カトリック司教協議会に協賛してほしいとの依頼については、通常、書籍に関する協賛は行わないことを伝え、「発行 日本カトリック司教協議会公認団体 日本カトリック障害者連絡協議会」とすることを提案する。
8. 一般社団法人難民移住者支援ネットワークからの公認団体申請について
日本カトリック司教協議会の公認団体となることを要請している「一般社団法人難民移住者支援ネットワーク」については、条件付きで公認団体として承認し、覚書の締結をもって正式に公認団体として認可することを確認した。なお、公認団体認可を受けるために同ネットワークに伝えるべき項目を列挙した文書も覚書と併せて送付する。
9. ロゴス点字図書館との使用貸借契約「覚書」について
ロゴス点字図書館との日本カトリック会館使用貸借契約「覚書」を承認した。

10. 司教によるコレジアリタス積立金残余金の中央協議会該当部署への繰り入れについて

2026年度定例司教総会において、「日本カトリック司教協議会の海外支援に関する基本的枠組み」の改定が承認され、正式にコレジアリタス積立金が廃止されたことを受け、2026年7月2日時点でのコレジアリタス積立金の残余金を今後の諸外国司教協議会からの援助要請に対応するために、司教団関連費に繰り入れることを承認した。

11. カトリック中央協議会発行出版物の企画承認について

出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと出版企画書を承認した。

書籍名：回勅『人間の偉大さ——AIの時代における人格の擁護』

内 容：教皇レオ十四世の回勅「Magnifica Humanitas」の邦訳出版

著 者：教皇レオ十四世

訳 者：カトリック中央協議会事務局

司祭・終身助祭生涯養成委員会

■司祭生涯養成プログラムA（2027年）実行委員会

日 時 2026年7月1日（水）14：00－16：10

場 所 真生会館 会議室（東京・新宿区）

出席者 9人

審 議

1. 「司祭生涯養成プログラムA」（叙階年数3－5年の司祭対象）の内容検討

上記プログラムは、本年6月の定例司教総会で報告したとおり、2027年5月19日（水）－26日（水）に、聖マリアの汚れなき御心のフランシスコ姉妹会・与那原修道院（沖縄県島尻郡）で開催する。

前回会合を受けて、各日についての具体的なスケジュール案が資料として出され、それをもとに意見交換を行った。司祭としての歩みの振り返り、将来の希望の分かち合いを行う他、開催地である那覇教区の福音宣教の現場に触れる現地学習、教区の小教区共同体との交流も予定している。

2. 「司祭生涯養成プログラムA」対象者への案内について

上記プログラムの対象司祭に対して参加を呼びかける案内（案）の検討を行った。出された主な意見と合意事項をもとに修正し、7月中旬に発送予定。

次回日程 2026年11月4日（水）10：30－12：00 真生会館

■第7回「終身助祭の集い（2026年）」実行委員会 第3回会議

日 時 2026年7月16日（木）14：30－15：45

場 所 オンライン

出席者 7人

欠席者 1人

審 議

1. 第7回「終身助祭の集い」の準備

10月7－9日に元寺小路教会（仙台市）にて開催する集いには、13人の終身助祭が参加予定。3人の講師からはいずれも講話依頼の承諾を得ている。プログラム内容に合わせてスケジュールを一部修正した。また典礼を含め、進行役等の役割分担を行った。

2. 『ステファノの風』(第3号)

本年12月発行予定の、終身助祭便り「ステファノの風」(第3号)に、10月の「終身助祭の集い」のレポートも掲載する。レポート執筆者ならびに編集後記担当者を確定した。

青少年司牧部門

■WYD ソウル大会第2回運営委員会

日 時 2026年7月14日(火) 15:00-16:30

場 所 オンライン

出席者 8人

報 告

1. これまでの準備状況

- ①教区窓口設置状況(開設済みの窓口はカトリック中央協議会ウェブサイトに掲載)。
- ②日本巡礼団への仮登録フォームの登録者情報を教区と共有。
- ③教区大会(教区での日々)申込み専用ウェブサイト掲載情報の概要。
- ④国内の準備会、WYD関連行事の紹介。

審 議

1. 日本巡礼団の募集の枠組み

青少年司牧部門としては、本大会コースに加え、週末のみのコースも募集する方向で確認した。大枠は以下のとおり。なお、教区大会(教区での日々)については各教区での対応となり、当部門として募集は行わない。

<本大会コース>

- ①集合・解散の日程:2027年8月2日(月)集合、9日(月)解散
- ②集合・解散の場所:いずれも大会本部指定の宿舎
- ③日本からの渡航手段:各自手配
- ④参加対象年齢:18-35歳(高校生不可。例外については各教区の判断と責任による)
- ⑤参加費:概算60,000円
- ⑥募集開始時期:2026年秋(10月開催予定の合同説明会後)

<週末コース>

- ①集合・解散の日程:2027年8月6日(金)集合、9日(月)解散
- ②集合・解散の場所:いずれも大会本部指定の宿舎
- ③日本からの渡航手段:各自手配
- ④参加対象年齢:18-35歳(高校生不可)
- ⑤参加費:概算35,000円
- ⑥募集開始時期:2026年秋(10月開催予定の合同説明会後)

※上記内容は、後日カトリック中央協議会ウェブサイトやSNSでも公表する

2. 参加希望者向けのオンライン説明会

日時：2026年8月29日（土）16時－17時30分

場所：オンライン

内容：韓国のキリスト教史、WYDの歴史や意義、大会中の生活、募集の概要説明

案内：仮登録者および各教区への直接案内のほか、カトリック中央協議会サイトやSNSでの周知

3. 合同説明会

日時：2026年10月2日（金）10時－16時

場所：真生会館

内容：9月の国際準備会議で明らかになる具体的内容や、カテケージスに向けた協力体制の共有

対象者：教区のWYD担当者、修道会のWYD参加を検討している担当者

次回日程 未定

多文化共生司牧部門

■第4回 多文化共生司牧部門

日時 2026年6月29日（月）11：00－7月1日（水）13：00（最終日13：00－15：00 スタッフ打ち合わせ）

場所 御聖体の宣教クララ修道会 軽井沢修道院（長野）

出席者 15人、オンライン5人

欠席者 2人

報告

1. 本部門の設立と名称変更の経緯、活動について
2. 各言語別司牧や共同体の活動報告と課題共有
 - ①ENCOMの活動報告と信徒数の推移予測レポート
 - ②APALAの組織概要と活動報告
 - ③ミャンマー司牧、共同体の組織概要、共同体としてのビジョンと活動内容について/東京教区の宣教師の会の活動内容について
 - ④ベトナムでの司牧やイグナチオ教会でのミサ、ゆるしの秘跡について
 - ⑤フィリピン人司牧と福岡教区での地域的課題について
 - ⑥スリランカ人司牧の司祭派遣の問題と日本におけるスリランカ・カトリック共同体の司牧状況に関する報告
 - ⑦中国人司牧、中国でのカトリックの現況と日本における中国人司牧状況
 - ⑧日本におけるベトナム人司牧の現況とベトナム人聖年大会2025の報告、家庭生活向上プログラムの取り組みについて
 - ⑨ステラマリス日本の組織と活動について

審議

1. 当部門の役割とこれからの取り組み
カトリック教会における多文化共生司牧について議論し、特にミサの言葉の選択や表現方法についての課題が指摘された。各言語、地域のグループ活動の表現方法、文化共生の取り組み、福音宣教の実施についても話し合わせ、各言語のグループが参加できるようメディアを活用することが提案された。部門として「共に歩む教会」のビジョンを共有し、既存の日本の教会と平行した司牧ではなく、交わりと一

致、多様な文化グループを結び付けることを目指していくことが合意された。「多文化共生」がまだ新しい概念であるものの、人類とカトリック教会に重要であり、神の民としての役割、聞くことと応えていく姿勢の重要性が強調された。会議全体を通して、多言語グループの司牧面での様々な具体的な課題が共有された。

■第5回 多文化共生司牧部門

日 時 2026年7月21日（火）10：00－12：00

場 所 オンライン

出席者 10人

欠席者 5人

報 告

1. 船上慰霊祭（2026年7月11日 福島・いわき市江名港）

船上慰霊祭への参加で宗教を超えた「祈り」の必要性、重要さが再確認されたこと、また7月12日「船員の日」の各地でのミサの状況や、改訂されたステラマリスポスターへの反響が報告された。

2. 「世界難民移住移動者の日」指定献金の運用規程の件

上記報告を基に、当部門としての規定作成を検討することで合意された。

3. 各教区の多文化共生部門担当者報告状況

各教区の担当者の状況や取組みが報告された。特に札幌教区の取組みが注目され、今後の継続的な事例報告が期待された。全国会議など今後の活動は継続審議となった。

審 議

1. 船員司牧（ステラマリス日本）

全国の港での活動報告、ポスターの反響、港ごとの地図掲載をきっかけにネットワーク拡大が進んだ事例、現地の信徒リーダーや医師・歯科医などが担う実践的な支援の重要性が共有された。全国共通のステラマリス訪船活動用ビブス（メッシュベスト）を作成することを申し合わせた。

2. 言語別・共同体別司牧

各言語・文化コミュニティ（ベトナム人、フィリピン人、ミャンマー人、中国人、スリランカ人、スペイン語、ポルトガル語系のコミュニティなど）の司牧と活動について情報共有が行われた。

以下、今後の全国会議予定。

・APALA [2026年9月25日－26日 会場・三位一体の聖体宣教女会修道院（東京・東村山市）]

・ベトナム人司牧 [2026年10月19日－21日 会場・旧福岡カトリック神学院（福岡市）]

3. 司牧サポート

部門HP制作に着手する事が合意された。8月20日頃までに、テーマカラーやロゴ案を出し合うことが合意された。

次回日程 2026年9月10日（木）10：00－12：00 オンライン

聖書・教理部門

■2026 年度第 2 回会議

日 時 2026 年 7 月 9 日（木）10：00－15：00

場 所 大阪高松大司教館（大阪市）

出席者 5 人

審 議

1. 聖書週間リーフレット『聖書に親しむ』

リーフレット編集方針を確認し、例年通りの発行部数とする。リーフレットと併せて制作するポスターに使用するデザインを検討し、今年度よりデザイン制作は外注することが確認された。

2. 聖書に親しむ講座

聖書や教理に親しんでもらうための機会として企画した「聖書に親しむ講座」（2026 年 11 月 23 日／大阪市）の実施内容、準備事項を検討した。本講座に関するチラシを 8 月下旬頃に関係各所に送付、中央協議会ウェブサイトや SNS 等を通じて告知する。

◇聖書に親しむ講座

日時：2026 年 11 月 23 日（月・祝）13：00－16：00

場所：大阪高松カテドラル玉造教会・聖マリア大聖堂

講師：スック・G・パオロ神父、山下 敦神父、阿部仲麻呂神父

参加方法：①会場参加、②YouTube ライブ配信、③YouTube アーカイブ配信[後日視聴可]

3. 今後の活動

聖書に親しむ講座は毎年各管区で開催することを目指し、次年度以降も企画することを確認した。なお、リーフレット執筆や講演者の選定のために、委員のほかに聖書・教理専門の司祭を管区レベルで協力者として任命する案については継続審議とする。

次回日程 2026 年 10 月 13 日（火）10：00－15：00 大阪高松大司教館

典礼委員会

■定例会議

日 時 2026 年 7 月 13 日（月）10：20－15：00

場 所 オンライン

出席者 9 人

欠席者 1 人

報 告

1. 6 月の常任司教委員会での結果を受けて

①カトリック儀式書『子どもとともにささげるミサ』修正版の公表について

新しい「ミサの式次第」に準拠して修正した掲記儀式書について、カトリック中央協議会ウェブサイトで公表することが承認された。6 月の定例司教総会で報告を行い、関係各所に周知していく。

②「聖ジョン・ヘンリー・ニューマン司祭教会博士の記念日」（10月9日・任意）の典礼について
前回会合を受けて修正した、掲記記念日のミサの固有式文の邦訳と聖書朗読箇所が承認された。「ミサ
典礼書補遺」としてカトリック中央協議会ウェブサイトに掲載する。

2. 7月の常任司教委員会での結果を受けて

司牧の現場で活用できる参考資料として、ラウダート・シ部門と共同で準備した『『被造物を大切にす
ためのミサ』の手引き（2026年版）」が承認された。関係各所に通知するとともに、カトリック中央協
議会ウェブサイトに掲載する。

審 議

1. 全国典礼担当者会議のプレゼンテーション資料について

掲記会議は本年9月7日～9日に御聖体の宣教クララ修道会・軽井沢修道院（長野）で開催される。テ
ーマは「信徒による典礼奉仕の共通理解を求めて 3」。受難の主日と聖なる過越の三日間の典礼奉仕につ
いて、今会合での意見と合意事項をもとに修正した解説資料を用いて、各委員が解説を行う。

2. 『教会の祈り』の改訂作業について

6月の定例司教総会で、『教会の祈り——新しい聖務日課』の改訂の基本的作業方針、および改訂委員会
設置が承認された。それを受けて、各小委員会の作業の役割分担について再度、確認を行った。

3. 「カトリック儀式書『成人のキリスト教入信式』の新しい訳語」について

入信の秘跡に関連する用語の修正は6月の定例司教総会で承認された。掲記儀式書（第二版）の購入者
への配慮のため、今会合で確認した新旧の訳語の対照表をカトリック中央協議会ウェブサイトに掲載す
る。

次回日程

定例会議 2026年9月7日（月）9：30～12：00 御聖体の宣教クララ修道会 軽井沢修道院（長野）

全国典礼担当者会議 2026年9月7日（月）14：00～9日（水）12：00 同会場

学校教育委員会

■第202回 学校教育委員会

日 時 2026年6月25日（木）17：00～19：00

場 所 オンライン

出席者 12人

欠席者 1人

報 告

1. 6月司教総会、3司教会議報告

6月の司教総会内でカトリック校の現状の厳しさ、統廃合の問題などが共有されたことが報告され、今
後、過去の資料を基に、統廃合の基準を作成し次期総会へ提出することを申し合わせた。また委員長より、
カトリック学校の管理職が大きなビジョンを持って取り組むことの重要性が強調され、司教団の区域分
けと連合会の区域分けが一致していない問題も指摘された。

2. 委員会の役割、過去資料報告（2015 司教総会報告資料）

2015 年 6 月の司教総会報告書に基づき、学校教育委員会（以下、当委員会）の役割、当委員会と日本カトリック学校連合会（以下、連合会）の役割の区別が確認された。当時の資料により、研修会は連合会に引き継がれ、「集い」は研修としてではなく、全カトリック校にカトリックの精神を伝える継続的なイベントであることを確認した。よって、4 月の「集い」は継続して開催されることが報告された。

審 議

1. 当委員会の役割について

秘書より、当委員会の発足の歴史が説明され、その中で当委員会と連合会の区別が明確になった。当委員会は諮問機関であり、連合会の役割とは区別されることを確認した。

2. 連合会との連携について

連合会は具体的な諸活動を担う。また、連合会の委員長を、当委員会の委員長が兼務する役割があり、両者は互いに補い合い、時代に合わせた協力体制を構築してきた。今後、連合会に一部の業務を委託する可能性も残されていることが説明された。

3. 「集い」の方向性について（松村委員提案資料を基に）

委員より、「集い」の再構成について提案があった。現在の単発的な集いから、3 年間のサイクルに基づく、より持続可能な構造への移行を提案し、テーマ設定、「集い」実施、分析・整理、対応・反映の 4 つのフェーズで構成する。次回委員会内で提案内容を再確認し、修正したものを基に審議を進めることで合意した。

4. その他

次回日程 2026 年 7 月 20 日（月・祝）17:00－19:00

■第 203 回 学校教育委員会

日 時 2026 年 7 月 20 日（木）17:00－19:00

場 所 オンライン

出席者 9 人

欠席者 4 人

報 告

1. 教皇庁宣教事業主催「世界宣教の日」／「世界宣教の日・100 周年」（2026. 10. 18）と、第四回「宣教川柳」、2026 年「第 4 回 宣教川柳」（テーマ「記念」）について

上記を学校へ周知する方法について、地区連絡網や SNS、ポスターの活用などが話し合われた。郵送よりも各地区の日本カトリック学校連合会（以下、連合会）を通じたメール配信や SNS での情報共有が効果的であることが合意され、連合会や日本カトリック教育学会のメーリングリストへの配信が提案された。

審 議

1. 「集い」の方向性について（松村委員提案資料を基に）

委員より、集いを単なる研修ではなく「共同識別」の場とし、自己点検評価基準（日本カトリック学校としての自己点検基準／2013 年 2 月 21 日・日本カトリック司教協議会 承認）

[https://www.catholic-education.jp/?page_id=359] の再考やネットワーク構築の必要性が提起された。期間については、当初の 2028 年 10 月までの 3 年計画から 2 年計画に短縮することが提案され、より実行可能なサイクルに変更することを説明。2028 年 10 月までの期間を区切りとして、27 年 4 月と 28 年 4 月の「集い」で、次のステップを検討することで合意した。非信徒の校長など新規参加者への配

慮、幼稚園を含めた広い対象へのアプローチ、これまで参加していない学校や各地区や教区への個別アプローチの重要性が指摘された。これを受け、従来の「集い」参加校以外との関係を深めていくことにも重点を置くことを申し合わせた。

社会司教委員会

■2026 年度第 1 回 いのち・平和・人権委員会

日 時 2026 年 5 月 20 日（水）10:30-12:30

場 所 日本カトリック会館 1 階 会議室 E （一部ハイブリッド）

出席者 14 人

報 告

1. いのち・平和・人権委員会の理念について

- 1) 設立の背景：司教協議会、中央協議会の組織改編に伴い、正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、部落差別人権委員会、子どもと女性の権利擁護部門、HIV/AIDS 部門を統合し、新委員会を設立した。
- 2) 委員会設立の目的およびビジョン：各委員会の縦割りの活動状況を見直し、教区の主体的判断と取り組みを尊重し、それをサポートする体制を推進していく。
- 3) 委員会の活動の方向性：
 - ①社会の諸問題に対して、日本のカトリック教会としての立場を、教会を代表して表明する。発信したメッセージについての啓発活動等を行う。
 - ②教区の活動の活性化のためサポート体制を確立する。教区と連携をとるため、各教区にいのち・平和・人権委員会の教区担当者の任命を依頼した。10 月 16 日に都内で、全国担当者会議を開催する。
 - ③教会内外のいのち・平和・人権の擁護のための諸団体と連携する。個々の活動団体のプロジェクトを後押しし、協働をしていく。

審 議

1. いのち・平和・人権委員会が今後なすべきことについて

各委員から提出されたレポートに従って自由討議を行なった。

■2026 年度第 2 回 いのち・平和・人権委員会

日 時 2026 年 7 月 6 日（月）10:30-15:00

場 所 日本カトリック会館 1 階 会議室 E

出席者 14 人

報 告

1. 世界難民移住移動者の日の広報について

- 1) 広報用パンフレットを作成する。いのち・平和・人権委員会委員長の作成する趣意書（多言語）、教皇メッセージ（日本語）を掲載。日本語版以外の教皇メッセージは、掲載したリンクからオンラインで閲覧できるようにする。

- 2) パンフレット・チラシの発送先は、例年通り全国小教区などに加え、2026年の教皇メッセージテーマ「このような一人の子どもを」を考慮して検討する。
2. 世界難民移住移動者の日の献金について
全国の小教区を中心に集められる献金のうち、いのち・平和・人権委員会に割り当てられる分は、日本で生活する外国人の直接支援のために運用する。その具体的な手続きは、第一回全国担当者会議（10月16日開催）において説明する。
3. 一般社団法人難民移住者支援ネットワークの設立について
4. いのち・平和・人権委員会 教区担当者について
いのち・平和・人権委員会教区担当者の任命状況、第一回全国担当者会議への派遣状況を報告した。
5. 正平協ネットワーク会議
従来の正平協メンバーの連携維持のため、任意の参加を募り7月17日にオンライン会議を開催する。
6. 関東大震災朝鮮人・中国人虐殺 犠牲者キリスト者追悼集会について
日本キリスト教協議会（NCC）東アジアの和解と平和委員会の呼びかけで、2026年第3回祈祷集会開催に向け、準備会議が立ち上げられた。いのち・平和・人権委員会から職員2人が参加する。

審 議

1. 第一回全国担当者会議（10月16日）について
 - 1) 教区内の活動状況を把握するために実施するアンケートについて精査した。アンケート結果は全国担当者会議にて共有する。
 - 2) 全国担当者会議への派遣のために教区が負う費用面での負担について、軽減方法を検討した。
 - 3) いのち・平和・人権委員会委員から提出されたレポートに基づき検討の結果、以下の方向性で会議を開催する。
開催趣旨：いのち・平和人権委員会の設立経緯やビジョンについて共通理解を作る。
プログラム骨子：委員長から委員会設立趣旨説明を受け、分かち合いによって委員会についての理解を深める。

■声明文発表

沖縄慰霊の日にあたって「2026年沖縄慰霊の日平和メッセージ 沖縄からの叫び『NO MORE WAR!』」
（6月23日発表／詳細は最終ページ「公文書」欄を参照）

カリタスジャパン

■2026年度 第2回 カリタスジャパン委員会

日 時 2026年6月22日（月）10:30-15:30
場 所 日本カトリック会館 アネックス4階 食堂
出席者 18人
欠席者 1人

報 告

1. 能登地震及び豪雨被災者支援事業視察及びボランティア支援活動
2. カリタスアジア総会パートナーミーティング及び財政状況
3. フィリピンミンダナオ地震向け募金について
4. 前回会議以降に送金した援助案件
5. 2026 年度定例全国教区担当者会議の日程と概要
6. ボランティア受け入れ状況
7. 福岡教区災害対応ワークショップ(5 月開催)
8. CJ-ERST 定例会議 (5 月開催)、今後の教区災害対応ワークショップ開催予定
9. 名古屋教区災害ボランティアバスパック企画
10. 南部アフリカ移住者・無国籍対策プロジェクト 1 年目報告
11. 援助プログラムの終了報告
 - ①グローバルライフサポートセンター「ウクライナ避難民とその家族への支援事業」
 - ②山梨ダルク「宿泊棟の修繕にかかる資金協力」
 - ③なみとも「浪江町における子どもの居場所づくり事業」
 - ④輪島復興支援団体リガーレ
「能登半島地震、奥能登豪雨からの復旧・復興支援活動
継続的なボランティア受け入れの為に宿泊場所の提供（輪島）」
 - ⑤災害復興子ども支援「石川県輪島市町野町震災復旧・被災地支援事業 2025 年」

援助審査

1. 国内一般案件
 - 1) なみとも「浪江町におけるこどもの居場所づくり」に 2,170,000 円の支援を承認した。
 - 2) しんせい「東北復興からの学び『すべての命が尊い』ことを次の世代につなぐ」に 1,342,437 円の支援を承認した。
2. 海外一般案件
カリタススリランカ「園芸農業を通じた社会的弱者エンパワメントプロジェクト」に、27,833 ドルの支援を承認した。

カトリック中央協議会事務局

■総務

8 月会議予定

3 日(月)	福音宣教委員会	ウェブ会議
5 日(水)	WPP 分科会(家具・引越、IT・セキュリティ)	日本カトリック会館
5 日(水)	第 10 回セーフガーディング委員会	広島教区事務所(広島市)
24 日(月)	衛生委員会	日本カトリック会館
26 日(水)	リニューアル・プロジェクト事前定例会議	〃

〈会報 2026 年 8 月号 公文書〉

沖縄慰霊の日にあたって

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2026/06/23/38746/>)



Okinawa Memorial Day 2026: Peace Message

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2026/06/25/38786/>)



2026 年平和旬間 日本カトリック司教協議会会長談話

「連帯のうちに平和な世界を築く」

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2026/07/10/38959/>)



2026 Ten Days of Prayer for Peace Building a Peaceful World in Solidarity

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2026/07/13/38975/>)



第 6 回「祖父母と高齢者のための世界祈願日」

教皇メッセージ 2026 年 7 月 26 日(日本では 2026 年 9 月 20 日)

(<https://www.cbcj.catholic.jp/2026/07/10/38964/>)



カトリック中央協議会 「会報」 2026 年 8 月号 (通巻 645 号)

発行日 2026 年 8 月 10 日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <https://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457